



上湧別町のJRYに移築保存されている屯田兵屋

屯田兵村の分布

所属大隊	現市町村名	兵村名	移住年	兵年数
第一大隊	札幌市	琴似	明治 8	208
		琴似（発寒）	明治 9	32
		山鼻	明治 9	240
		新琴似	明治20	220
		篠路	明治22	220
	室蘭市	輪西	明治20	220
	秩父別町	秩父（東・西）	明治28	400
	深川市	一己（北・南）	明治28	400
		納内	明治28	200
第二大隊	江別市	江別	明治11	160
		江別（篠津）	明治14	60
		野幌	明治18	225
	滝川市	滝川（北・南）	明治22	440
		江部乙（北・南）	明治27	400
第三大隊	旭川市	永山（東・西）	明治24	400
		旭川（上・下）	明治25	400
	当麻町	当麻（東・西）	明治26	400
	剣淵町	剣淵（北・南）	明治32	337
	士別町	士別	明治32	99
第四大隊	根室市	和田（東・西）	明治19	440
	厚岸町	太田（北・南）	明治23	440
	北見市	上野付牛（相内）	明治30	199
		中野付牛	明治30	198
	端野町	下野付牛	明治30	200
	上湧別町	湧別（北・南）	明治30	399
特科	美唄市	美唄	明治24	160
		高志内	明治24	120
		茶志内	明治24	120

出典：HP「歴史東旭川屯田兵屋」

年後には第7師団が創設されたので、屯田兵制度の意味合いが薄れ、1899（明治32）年の土別、剣淵の両兵村を最後に募集を中止した。この25年間で37の兵村が建設されたことになる。

支庁別に見ると空知が最も多く12村を数え、上川が9、石狩が6と続き、以下、網走、根室、釧路、胆振が1、2村。大多数の兵村が北海道中部に集中しているのが特徴といえる。

札幌市西区琴似、美唄市、士別市、厚岸町太田、根室市和田などに兵屋や被服庫、札幌市北区新琴似、江別市野幌に中隊本部の建物が保存されている。

その中で上湧別町は当時の屯田区画である北地区と南地区がいまもそっくり残っており、往時を偲ぶことができる。秋に行われる屯田祭りには屯

田兵の衣装をまとった屯田三世らによるパレードが会場を練り歩き、人気を呼んでいる。また、町立博物館ふるさと館JRYには、実物の屯田兵屋をはじめ、生活資料が豊富に展示されている。

北海道の開拓は本州以西からの入植（特に東北・北陸からの入植者が多い）によるものであり、生活形態や開墾の状況を把握するのは難しい。しかし、屯田兵は各地に史料が残っており、そこで見ることが出来る開拓の状況、生活、住居などの形態は、本道開拓の一つのサンプルとしてとらえることができる。

それゆえに、この屯田兵による開拓は、土族移住村、団体移住民村と並んで特筆されるものである。

それぞれ違う。

北見屯田会長の竹口武雄さんは、祖父の人形を見つめながら、「よくぞ立派な人形を残してくれたものと感謝しています。もし人形がなかったら、お寺に来ても寂しい思いをしただけ。わが家の家宝みたいなものです」としみじみ語る。



Data

●お問い合わせ先

札幌市観光文化局文化課

Tel. 011-211-2312

上湧別町ふるさと館JRY

Tel. 01586-2-3000

※湧別屯田兵の入植風景をジオラマや立体映像により紹介。明治30年に造られた屯田兵屋が移築展示されている。

休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始

入館料：大人400円、高校生250円、小中学生200円

北網圏北見文化センター

Tel. 0157-23-6700